

- 問1 1543年に種子島に漂着した船により、日本に初めて鉄砲が伝えられました。当時の種子島の鍛冶職人がその仕組みを学び国産化を進めたといわれる、この武器を日本に伝え、後に長崎などを拠点にキリスト教の布教を伴う貿易を行った国はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
1. スペイン 2. オランダ 3. ポルトガル 4. イギリス
- 問2 1543年、九州の南側に位置する種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。
2. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。
3. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。
4. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化させた。
- 問3 室町時代後半から戦国時代にかけて、各地で勢力を強めた戦国大名は、家臣や領民を統制し、自らの領国を独自のルールで支配しようとした。このように、戦国大名が領国支配のために独自に制定した法律を何といいますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
1. 分国法 2. 武家諸法度 3. 十七条の憲法 4. 御成敗式目
- 問4 1543年にポルトガル人を乗せた船が現在の鹿児島県にある島に漂着し、日本に初めて火縄銃が伝えられました。この出来事がその後の戦国時代の戦い方に与えた影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 弓矢が全く使われなくなり、すべての兵士が銃を装備した。
2. 接近戦を防ぐために、城の石垣をあえて低く築くようになった。
3. 騎馬武者同士による一騎打ちが戦いの中心となった。
4. 足軽などの歩兵による集団戦法が重視されるようになった。
- 問5 鉄砲の伝来がその後の日本の戦い方や社会に与えた影響として、最も適切な説明を選びなさい。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鉄砲の製造が困難であったため、一部の特権階級のみが儀礼用として保持した。
2. 集団戦法が主流となり、強力な火力から守るための堅固な城が築かれるようになった。
3. 武士個人の技術がより重視されるようになり、刀や弓矢による一騎打ちが増加した。
4. 外国との交易が危険視されたため、すぐに鉄砲の使用や製造が全面的に禁止された。
- 問6 室町時代後半から戦国時代にかけて見られた、身分や立場が下の者が、実力によって上の者に打ち勝ち、その地位を奪う社会的な風潮を何といいますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 下剋上 3. 一向一揆 4. 尊王攘夷
- 問7 日本に鉄砲が伝来した16世紀半ばの世界情勢について説明した文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. ドイツのルターが、ローマ教皇や教会の権威を否定し宗教改革を開始していた。
2. ムハンマドがイスラム教を創始し、アラビア半島の統一を進めていた。
3. チンギス・ハンがモンゴル帝国を建国し、ユーラシア大陸の広範囲を支配していた。
4. アメリカでリンカーンが大統領に就任し、南北戦争が勃発していた。
- 問8 戦国時代、現在の福井県にあたる北陸地方の要所に位置し、戦国大名の朝倉氏が有力な家臣を城下町へ集住させて築き上げた拠点の名称を選びなさい。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 一乗谷 2. 安土 3. 山口 4. 小田原
- 問9 戦国時代、室町幕府の支配力が弱まる中で、各地の戦国大名が自らの領国内の家臣や領民を統制するために独自に定めた法律を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 分国法（家法） 3. 公事方御定書 4. 武家諸法度
- 問10 1543年に九州南部の種子島にポルトガル人が漂着した際、日本に初めて伝えられた武器について、その後の歴史に与えた影響として正しいものはどれか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 戦い方が騎馬による一騎打ちから、足軽による集団戦へと変化し、城の構造も強固な石垣を持つものへと変化した。
2. この武器の輸入を目的として、室町幕府の足利義満によって明との間で勘合貿易が開始された。
3. 鎌倉時代にモンゴル帝国が襲来した際、日本の武士が防衛のためにこの武器を組織的に使用して撃退した。
4. この武器の伝来をきっかけに、日本独自の武術である剣術や弓術が廃れ、すべての合戦がこの武器のみで行われるようになった。
- 問11 1543年、九州の南方に位置する種子島に漂着した中国船に乗っていた人々によって、日本に初めて鉄砲が伝えられました。このとき、日本に鉄砲を伝えたのはどこの国の人々ですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
1. スペイン人 2. ポルトガル人 3. イギリス人 4. オランダ人
- 問12 戦国大名が領国内の統制を図るために定めた「分国法」の性質について説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 大名が自分の領国内にのみ適用した独自の法律であり、地域の実情に応じた内容であった。
2. 豊臣秀吉が全国を統一した後、農民から武器を取り上げるために発令したものであった。
3. 源頼朝が全国の守護や地頭に対して、公家との紛争を公平に裁くために制定したものであった。
4. 日本で最初の本格的な法律であり、天皇を中心とした律令国家の仕組みを定めたものであった。
- 問13 室町幕府の権威が衰退した戦国時代、各地で実力を持った戦国大名が登場しました。彼らが幕府の法律に頼らず、自らの領国を独自に支配し、家臣や民衆を統制するために制定した法律を何といいますか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 分国法 2. 御成敗式目 3. 公事方御定書 4. 武家諸法度
- 問14 越前国（現在の福井県）を支配した朝倉氏の法には、本拠地である朝倉館のほかに国内に城を構えることを禁じ、有力な家臣を一乗谷に移住させるよう命じた規定があります。戦国大名がこのような定めに代表される「分国法」を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
1. 一乗谷を商業の中心地とし、家臣に農業ではなく外国との貿易に専念させるため。
2. 村々に代官を置くことで、農民から直接税を徴収する太閤検地の予備調査を行うため。
3. 家臣を城下町に集めて監視・統制を強め、反乱を防ぐとともに領国支配を安定させるため。
4. 幕府が定めた武家諸法度を遵守させ、將軍への忠誠心を高めるための準備を行うため。